

The 21st CADP 運営委員の声

<CADP 運営委員 各係の紹介>

CADP は複数回参加する中でより深い学びが得られる研修会です。

2 回目以降の参加の方には、ぜひ運営委員としてのご参加をご検討いただけますと幸いです。

The 21st CADP 運営委員より各係の特徴についてご紹介させていただきます。

■国内係

国内係は、「国内参加者の皆様が大会本番に良いコンディションで臨むことができるように」という考えで活動しています。国内参加者に適切に情報を伝え、事前グループでの準備活動を企画します。

英語での 3 日間の合宿という非日常の CADP という環境で、国内参加者が緊張するのは必然です。国内係で考えた事前グループが、参加者にとって共に乗り越える仲間と事前に交流する企画となるのがやりがいです。

(国内係 宮田潮)

■海外係

海外係は、海外参加者への連絡等を担います。海外参加者は出身国も様々ですが、各々の事情に最大限配慮しながら準備を進めていきます。

来日回数は参加者によって様々ですが、初来日という参加者も少なくありません。CADP そのもののサポートは当然ですが、CADP 前後の交通や観光についても可能な限り相談に応じます。日本の良い点についても運営委員自身が改めて発見することができるのも大変魅力的だと思います。

(海外係 錫谷研)

■SGW 係

SGW (Small Group Work) 係は、CADP の準備の段階で入念に企画の準備をします。

SGW のテーマを決め、参加者にグループで取り組んでほしいお題（主にプロジェクトの立案）を考えます。限られた時間枠で参加者に議論を深めてもらうには、どのような情報

を提供すべきか、どうすればグループワークが円滑に進むか、について十分に検討をして準備をします。

参加者が各グループで力を発揮できるよう、場をつくる経験はなかなかできることではないです。

CADP 最終日前夜は、参加者が提出したプレゼンテーションスライドの評価・講評の準備をします。プロジェクト立案をした参加者への敬意を胸に、集中して議論を重ねます。大変なプロセスですが、SGW メンバーは、強い絆で結ばれます。そしてその仲間とともに大仕事をやり遂げた時、ハンパない達成感は感動ものです！

(SGW 係 山口泰成)

■宴会係

CADP 運営に興味があるけど、英語が苦手な方が踏み出せない、そんな方にも宴会係はお勧めです。言語や文化の違いを超越した non verbal な交流こそが宴会の真髄です。参加者全員が一体となって楽しめるような宴会を作り上げませんか。素敵な思い出になること請け合いです。

(宴会係 宮野史也)